

サイバー大学 履修証明プログラム

募集要項

2024 年度秋学期募集（10 月入学）

「履修証明プログラム」とは、学校教育法第 105 条および学校教育法施行規則第 164 条の規定に基づき、社会人を対象として大学が編成する特別の課程です。

各プログラムの修了要件を満たした方には、学校教育法第 105 条に基づく履修証明書を交付しますので、履歴書の学歴欄に公式に記載することができます。

履修証明プログラムの名称：

1. ネットワークセキュリティ総合プログラム【[詳細](#)】
2. 情報セキュリティ実践プログラム【[詳細](#)】
3. 地域イノベーター育成プログラム【[詳細](#)】

各プログラムの目的、科目構成、総時間数、履修資格、定員、内容、修得できる知識と技術、受講対象者、授業の方法、修了要件、単位の授与の有無、実施体制、受講料等（団体割引あり）、同意事項については、次ページ以降の実施要領をご参照ください。構成する授業科目の内容は、別添のシラバスをご覧ください。

募集期間：

2024 年 9 月 24 日（火）～9 月 30 日（月）まで

※第 1 回の授業は 10 月 3 日（木）正午から開講しますが、ご希望がありましたら 10 月 14 日（月）まで受講の申込を受け付けます。

受講に必要な環境：

すべての授業はオンラインで実施するため、パソコンまたはモバイル端末（スマートフォン、タブレットなど）とインターネット環境が必要です。受講時および試験時の本人確認を行うため、パソコンと接続した Web カメラもご用意ください。

詳細：<https://www.cyber-u.ac.jp/qualification/index.html>

申込方法：

別添の申込書に必要事項を記載し、証明写真を添付のうえ、以下のメールアドレスまでご提出ください。10 月 2 日（水）までに受入れ可否と受講料等のお振込み

方法をご連絡いたします。所定の期日までに入金が確認できないときは、受講を停止または申込を取り消す場合があります。

提出先アドレス：nyushi@cyber-u.ac.jp または plc@cyber-u.ac.jp

お問合せ：

ご不明な点がございましたら、上記のメールアドレスまでご連絡ください。1 企業等から 10 人以上の団体申込の場合、割引が適用されます。詳細は各プログラムの「受講料等」の欄をご覧ください。ご希望がありましたら、申込前にメールでお問合せください。

ネットワークセキュリティ総合プログラム実施要領

履修証明プログラムの名称

ネットワークセキュリティ総合プログラム

目的

この教育プログラムは、学校教育法第 105 条および同法施行規則第 164 条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。情報セキュリティとネットワーク技術の基礎から応用までを学び、実践的なセキュリティ対策とネットワーク設計能力を養うことを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

科目構成

区分	科目名	授業時間	単位数	実務家教員
必修	ネットワーク技術基礎	30 時間	2 単位	
必修	情報セキュリティ入門	30 時間	2 単位	○
必修	ネットワーク技術応用	30 時間	2 単位	
必修	情報セキュリティ応用	30 時間	2 単位	○
選択	インターネット入門	30 時間	2 単位	
選択	コンピュータ入門	30 時間	2 単位	○

※選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい人に履修を推奨します。

総時間数

必修 120 時間＋選択 60 時間

2024 年度秋学期：2024 年 10 月 3 日正午～2025 年 2 月 6 日正午まで

※希望により、2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修することが可能です。希望する際は、申込時に 2 学期分の履修希望科目をあらかじめ選択してください。

履修資格

[学則第 21 条](#)に定める大学入学資格を有する者。

かつ社会人として就業経験があると認められる者。

インターネットやコンピュータに関する基礎的な知識があることが望ましい。

※上記の履修資格を有する者は、正規課程における科目の履修前提条件を緩和します。

※既に本学の学生の身分を有する者は申込できません。

定員

30 人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

内容

この教育プログラムでは、情報セキュリティとネットワーク技術の基礎から応用までを包括的に学びます。セキュリティに関しては、基礎知識から実際の事例を通じた対策を学習し、暗号技術や量子コンピュータ、ブロックチェーンなどの最新技術とその社会的影響に関する知識を深めます。ネットワーク技術に関しては、基本構造とプロトコルを理解した上で、通信トラヒック理論やクラウドコンピューティングを学び、実践的なネットワーク設計と制御に関する能力を養います。

修得できる知識と技術

- パソコンや企業システムのセキュリティ対策を理解し実践できる。
- 暗号化、認証、SSL/TLS、量子鍵配送 BB84 などの技術を理解し活用できる。
- ネットワーク・アーキテクチャや各層のプロトコルの役割と機能を説明できる。
- DDoS 攻撃や標的型攻撃などの代表的なサイバー攻撃を理解し、それへの対処法を説明できる。
- IoT、AI、ブロックチェーン、量子コンピューティングなどの新技術による脅威と防御策を説明できる。
- RIP、OSPF、BGP などの経路制御プロトコルやネットワーク仮想化技術を用いたネットワークの設計と運用方法を応用できる。

受講対象者

1. セキュリティ関連技術やネットワーク技術に興味があり、将来それらの分野で働きたいと考えている人。
2. IT 業界で働いているエンジニアやシステム管理者で、セキュリティ対策やネットワーク管理のスキルを向上させたい人。
3. 企業内でネットワークの責任を持つ担当者や管理職で、最新のネットワーク技術やセキュリティ対策を学び、実務に活かしたい人。

授業の方法

メディア授業（インターネット経由で行うオンライン授業）

※正規課程の授業科目を履修する学生と合同で授業を運営します。

※受講時および試験時の本人確認のため、パソコンに接続した Web カメラが必要です。

※授業は1回当たり2時間で構成し、各回の授業内で出席認定のための必須課題を提示します。授業期間中は担当教員やTAにいつでも質問でき、学生同士のディスカッションの機会などを通じて、双方向のインタラクティブな学習を進めます。

修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で 60 点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

修了要件を満たした者には、学校教育法第 105 条に基づく履修証明書を交付します。履歴書の学歴欄に公式に記載することができます。

単位の授与の有無

有り。全必修科目の合格で計 8 単位。他に選択科目で合格した場合、1 科目当たり 2 単位を授与します。修得単位は、本学の正科生に入学した際に開講している科目について、単位認定を受けることができます。

※修了要件を満たさない限り、授業科目ごとに単位を授与することはありません。

※履修証明書の発行および単位の修得を希望する場合には、所定の手続きを別途ご案内いたします。

実施体制

産学教育連携部および教務部プロフェッショナルラーニングセンター

受講料等

必修 4 科目 176,000 円、その他選択 1 科目につき追加で 44,000 円。

1 企業等から 10 人以上の団体申込の場合、必修 4 科目を 150,000 円/人に割引いたします。

※2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※授業科目ごとの単位の授与を希望する人は、科目等履修生としての出願を受け付けますが、学則に定める検定料 10,000 円、登録料 20,000 円、授業料 44,000 円（1 科目 2 単位当たり）、学籍管理料 12,000 円、システム利用料 16,000 円の支払いが必要となります。

同意事項

この教育プログラム内の履修者には、本学における特別の課程履修生としての身分を与えます。特段の説明がない限り、[本学の学則](#)、[学生専用システム利用規約](#)、[個人情報保護方針](#)およびその他学生に適用される諸規則を準用します。

教育プログラム内の授業内容に関する質疑応答以外の正規学生向けのサービスは、原則として提供されません。

受講期間内に修了要件を満たせなかった場合は、次の期間にあらためて申込していただく必要があります。また、受講期間終了後、継続して別のプログラムへの申込が許可されない限り、特別の課程履修生としての学籍は維持されません。

企業等からの申込の際に、受講者本人の履修状況や成績等について、当該企業の担当者への通知を希望される場合は、その旨を受講者本人が同意した上でお申込みください。

情報セキュリティ実践プログラム実施要領

履修証明プログラムの名称

情報セキュリティ実践プログラム

目的

この教育プログラムは、学校教育法第 105 条および同法施行規則第 164 条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。最新の情報セキュリティ技術とその社会的影響を理解し、実践的な対応力を身に付けることを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

科目構成

区分	科目名	授業時間	単位数	実務家教員
必修	情報セキュリティ応用	30 時間	2 単位	○
必修	暗号技術と情報セキュリティ	30 時間	2 単位	○
必修	ネットワーク実践論	30 時間	2 単位	○
必修	認証システム論	30 時間	2 単位	
選択	情報セキュリティ入門	30 時間	2 単位	○
選択	ネットワーク技術基礎	30 時間	2 単位	

※選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい人に履修を推奨します。

総時間数

必修 120 時間＋選択 60 時間

2024 年度秋学期：2024 年 10 月 3 日正午～2025 年 2 月 6 日正午まで

※希望により、2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修することが可能です。希望する際は、申込時に 2 学期分の履修希望科目をあらかじめ選択してください。

履修資格

[学則第 21 条](#)に定める大学入学資格を有する者。

かつ社会人として就業経験があると認められる者。

暗号技術を理解するために、若干の数学的知識があることが望ましい。

※上記の履修資格を有する者は、正規課程における科目の履修前提条件を緩和します。

※既に本学の学生の身分を有する者は申込できません。

定員

30 人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

内容

この教育プログラムでは、暗号技術の歴史と発展、ネットワークセキュリティ、量子暗号、ブロックチェーン技術、認証システムなどを取り上げます。これにより、通信の暗号化や匿名通信網、サイバー攻撃対策、認証技術の選択と実装方法についての知識を深めます。また、セキュリティ社会制度基盤や関連法規、最新のネットワーク技術の運用効果についても学び、情報セキュリティが社会・経済に与える影響を理解し、適切な対策を講じる能力を養います。

修得できる知識と技術

- SSL/TLS の仕組みを理解し、最新攻撃手法への対処法を説明できる。
- RSA 暗号の概要を理解し、実際の計算例を交えて説明できる。
- DDoS 攻撃や標的型攻撃などの代表的なサイバー攻撃を理解し、それへの対処法を説明できる。
- ブロックチェーン技術の概要を理解し、セキュリティ社会制度基盤への影響を説明できる。
- ネットワークデバイスの基本的な操作方法を理解し、設計や運用における検討事項を説明できる。
- 多様な認証技術の仕組みと特性を理解し、適切な技術を選択できる。

受講対象者

1. セキュリティ関連技術やネットワーク技術に興味があり、将来それらの分野で働きたいと考えている人。
2. IT 業界で働いているエンジニアやシステム管理者で、セキュリティ対策やネットワーク管理のスキルを向上させたい人。
3. 企業内で情報セキュリティの責任を持つ担当者や管理職で、最新のセキュリティ技術や対策を学び、実務に活かしたい人。

授業の方法

メディア授業（インターネット経由で行うオンライン授業）

※正規課程の授業科目を履修する学生と合同で授業を運営します。

※受講時および試験時の本人確認のため、パソコンに接続した Web カメラが必要です。

※授業は1回当たり2時間で構成し、各回の授業内で出席認定のための必須課題を提示します。授業期間中は担当教員やTAにいつでも質問でき、学生同士のディスカッションの機会などを通じて、双方向のインタラクティブな学習を進めます。

修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で 60 点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

修了要件を満たした者には、学校教育法第 105 条に基づく履修証明書を交付します。履歴書の学歴欄に公式に記載することができます。

単位の授与の有無

有り。全必修科目の合格で計 8 単位。他に選択科目で合格した場合、1 科目当たり 2 単位を授与します。修得単位は、本学の正科生に入学した際に開講している科目について、単位認定を受けることができます。

※修了要件を満たさない限り、授業科目ごとに単位を授与することはありません。

※履修証明書の発行および単位の修得を希望する場合には、所定の手続きを別途ご案内いたします。

実施体制

産学教育連携部および教務部プロフェッショナルラーニングセンター

受講料等

必修 4 科目 176,000 円、その他選択 1 科目につき追加で 44,000 円。

1 企業等から 10 人以上の団体申込の場合、必修 4 科目を 150,000 円/人に割引いたします。

※2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※授業科目ごとの単位の授与を希望する人は、科目等履修生としての出願を受け付けますが、学則に定める検定料 10,000 円、登録料 20,000 円、授業料 44,000 円（1 科目 2 単位当たり）、学籍管理料 12,000 円、システム利用料 16,000 円の支払いが必要となります。

同意事項

この教育プログラム内の履修者には、本学における特別の課程履修生としての身分を与えます。特段の説明がない限り、[本学の学則](#)、[学生専用システム利用規約](#)、[個人情報保護方針](#)およびその他学生に適用される諸規則を準用します。

教育プログラム内の授業内容に関する質疑応答以外の正規学生向けのサービスは、原則として提供されません。

受講期間内に修了要件を満たせなかった場合は、次の期間にあらためて申込していただく必要があります。また、受講期間終了後、継続して別のプログラムへの申込が許可されない限り、特別の課程履修生としての学籍は維持されません。

企業等からの申込の際に、受講者本人の履修状況や成績等について、当該企業の担当者への通知を希望される場合は、その旨を受講者本人が同意した上でお申込みください。

地域イノベーター育成プログラム実施要領

履修証明プログラムの名称

地域イノベーター育成プログラム

目的

この教育プログラムは、学校教育法第 105 条および同法施行規則第 164 条に基づく、特別の課程（履修証明プログラム）です。起業から事業運営、マーケティングまでの知識を体系的に学び、地域社会に貢献する能力を身に付けることを目的としています。該当分野に関する豊富な実務経験を有する教員が担当する科目により、理論と実務の両面から学べる実践的な教育プログラムを提供します。

科目構成

区分	科目名	授業時間	単位数	実務家教員
必修	起業入門	30 時間	2 単位	○
必修	事業創造詳論	30 時間	2 単位	○
必修	ビジネスモデル構築論	30 時間	2 単位	○
必修	地域マーケティング論	30 時間	2 単位	○
選択	企業経営入門	30 時間	2 単位	○
選択	マーケティング入門	30 時間	2 単位	○

※選択科目は、必修科目の理解を助けるための基礎的な入門科目です。基礎から体系的に学びたい人に履修を推奨します。

総時間数

必修 120 時間＋選択 60 時間

2024 年度秋学期：秋学期開講期間：2024 年 10 月 3 日正午～2025 年 2 月 6 日正午まで

※希望により、2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修することが可能です。希望する際は、申込時に 2 学期分の履修希望科目をあらかじめ選択してください。

履修資格

[学則第 21 条](#)に定める大学入学資格を有する者。

かつ社会人として就業経験があると認められる者。

企業経営やマーケティングの基本概念など、ビジネスの基礎知識があることが望ましい。

※上記の履修資格を有する者は、正規課程における科目の履修前提条件を緩和します。

※既に本学の学生の身分を有する者は申込できません。

定員

30 人（定員を超える応募があった場合は、授業の実施方法に応じて支障のない範囲で履修可否を判断します。）

内容

この教育プログラムでは、起業の基本知識と必要な資質を学び、ビジネスアイデアから事業立ち上げまでのプロセスを理解します。さらに、成功する事業計画書の作成やビジネスモデルの概念と分類を学び、具体的な企業事例を通じてビジネスプラン作成や事業運営のスキルを習得します。また、日本全国の地域に根ざした商品マーケティングの手法を分析し、成功するための要素や戦略を学びます。これにより、地域に貢献するイノベーターとしての能力を養います。

修得できる知識と技術

- 起業家に求められる資質や能力を説明できる。
- 新規事業の構想方法とビジネスプランの作成方法を説明できる。
- 事業計画の構成内容と具体的な記載方法を説明できる。
- ビジネスモデルの基礎知識を身に付け、ビジネスモデルキャンバスを活用できる。
- 地域に根ざした商品づくりや街おこしに求められる要素を説明できる。
- マーケティング戦略・戦術に必要なキーワードを理解し、実践に役立つ考察を進めることができる。

受講対象者

1. 地方公共団体の職員や地域活性化に関心があり、地域社会の発展に貢献したい人。
2. 起業を目指す人や新規事業の担当者で、新しいビジネスを立ち上げたい人。
3. 地域に根ざした商品やサービスのマーケティングに興味があり、地域特有のマーケティング戦略を学びたい人。

授業の方法

メディア授業（インターネット経由で行うオンライン授業）

※正規課程の授業科目を履修する学生と合同で授業を運営します。

※受講時および試験時の本人確認のため、パソコンに接続した Web カメラが必要です。

※授業は1回当たり2時間で構成し、各回の授業内で出席認定のための必須課題を提示します。

授業期間中は担当教員やTAにいつでも質問でき、学生同士のディスカッションの機会などを通じて、双方向のインタラクティブな学習を進めます。

修了要件

この教育プログラム内の全必修科目で、シラバスに定められた評価配分で 60 点以上の評点を取得し、合格基準を満たすこと。

修了要件を満たした者には、学校教育法第 105 条に基づく履修証明書を交付します。履歴書の学歴欄に公式に記載することができます。

単位の授与の有無

有り。全必修科目の合格で計 8 単位。他に選択科目で合格した場合、1 科目当たり 2 単位を授与します。修得単位は、本学の正科生に入学した際に開講している科目について、単位認定を受けることができます。

※修了要件を満たさない限り、授業科目ごとに単位を授与することはありません。

※履修証明書の発行および単位の修得を希望する場合には、所定の手続きを別途ご案内いたします。

実施体制

産学教育連携部および教務部プロフェッショナルラーニングセンター

受講料等

必修 4 科目 176,000 円、その他選択 1 科目につき追加で 44,000 円。

1 企業等から 10 人以上の団体申込の場合、必修 4 科目を 150,000 円/人に割引いたします。

※2 学期間（秋学期・春学期）に分けて科目を履修する場合でも、受講料等は申込時に一括でお支払いいただきます。お支払い済みの受講料等は返金いたしません。

※授業科目ごとの単位の授与を希望する人は、科目等履修生としての出願を受け付けますが、学則に定める検定料 10,000 円、登録料 20,000 円、授業料 44,000 円（1 科目 2 単位当たり）、学籍管理料 12,000 円、システム利用料 16,000 円の支払いが必要となります。

同意事項

この教育プログラム内の履修者には、本学における特別の課程履修生としての身分を与えます。特段の説明がない限り、[本学の学則](#)、[学生専用システム利用規約](#)、[個人情報保護方針](#)およびその他学生に適用される諸規則を準用します。

教育プログラム内の授業内容に関する質疑応答以外の正規学生向けのサービスは、原則として提供されません。

受講期間内に修了要件を満たせなかった場合は、次の期間にあらためて申込していただく必要があります。また、受講期間終了後、継続して別のプログラムへの申込が許可されない限り、特別の課程履修生としての学籍は維持されません。

企業等からの申込の際に、受講者本人の履修状況や成績等について、当該企業の担当者への通知を希望される場合は、その旨を受講者本人が同意した上でお申込みください。